

リスクマネジメントのためのインシデントレポート

【リスクマネジメントとは】

これから起こるかもしれない危険に対して、事前に対応しておこうという行動

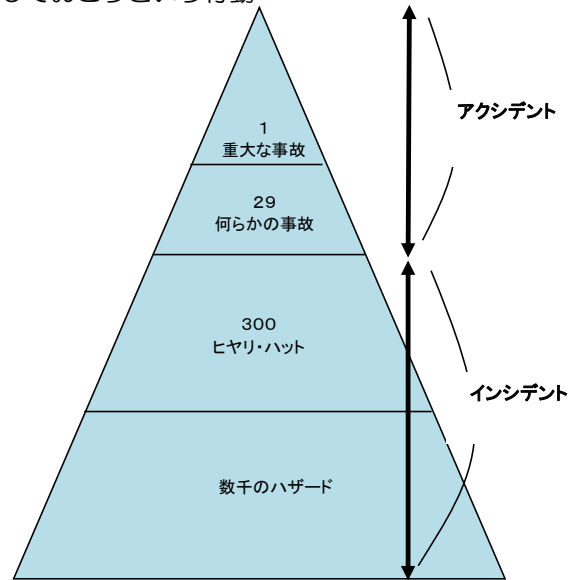
【ハインリッヒの法則】

1件の重大事故（重傷以上）があれば、その背後に29件の軽度の事故があり、300以上のインシデントが潜んでいる。

この経験則をハインリッヒの法則という。この法則に基づいて、予防可能な不安全行動や不安全状態をなくすことによって、重大事故のリスクを減少させることができる。

【インシデントとは？】

インシデントとは、思いがけない出来事、偶発現象で、これに対して適切な処理が行われないと事故（アクシデント）となる可能性のある事象である。つまり、「対象者に傷害を及ぼすまでは至らなかったが、ヒヤリとするようなミス」を指す。



【インシデントレポートの目的】

リスクは、未来に存在し、リスクの要因となるハザードは、過去に存在する。それを管理できなければ、「危機」に繋がって行く。

過去を学ぶことによって、未来のリスクを予測することができる。リスクを見極める為には、リスクの背後にあるハザードを知らなくてはならない。

「ハザード」とは、リスクを作り出す環境であり、リスクの要因・原因である。

前もって、1つでも多くハザードを知ることができれば、危機を回避できる。そして、何より、ハザードを生み出す環境を知ることが大切となる。

ハザードから損失・に至るまでのフロー

